



# 帰国生の学校選び A to Z

●第21回●

## 受験を控えた子どもとを持つ親の役割とは？

いよいよ受験シーズンがやって来しました。受験を控えた子どもとの接し方は、特に初めて経験する親御さんにとって頭の痛い問題でしょう。子どもに期待しすぎたり、過度に心配したりすることはよくあることです。また、口うるさく言ったり、受験生だと気を遣い、つい甘やかしたりすることもあるでしょう。しかし、このように親が介入することが子どもにはプレッシャーとなり、試験本番で好結果を出せないということにもなりかねません。では、受験で成功するためにはどのような態度で接すればよいのでしょうか。

例えば、子どもの成績を数値(点数や順位)のみで判断して、怒ったり落ち込んだりしてはいけません。子どもの長所や短所を十分に理解した上で、良いところは褒め、悪いところは励ましましょう。また、子どもがいつ何を勉強しているのかを知っておきましょう。ただ「勉強しなさい」と口うるさく言うだけでなく、叱るときにも具体的に注意をすることが大切なのです。

また、子どもがやる気になって受験に立ち向かえる環境を作るのも重要です。受験校の候補を選んだり、情報を収集するのは親の役目ですが、受験校は子どもと十分に話し合って決めましょう。その学校に入学する目的を明確にし、子ども自身が入学したいと思うこと、合格するためにはどんな学習が必要なのかを理解することが重要なのです。また、学習計画も子どもとともに立てましょう。このように、親は子どもに目標を持たせ、受験校という目標(=ゴール)に着実に到達できるように見守るペースメーカーなのです。

受験は子どもにとっても親にとっても大変ですが、親子が一丸となって乗り切り、志望校の合格を勝ち取られることを願っています。



執筆者：丹羽 筆人 (文京学院大学女子中学校 高等学校 北米事務所アドバイザー／名古屋国際中学校・高等学校 アドミッションオフィサー 北米地域担当)

河合塾での指導経験を経て米国では CA・NY・NJ 州の補習校・学習塾にて指導。現在はデトロイトりんご会補習授業校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験学習「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所アドバイザー。お問い合わせ先：E-mail [bunkyo@ujeec.org](mailto:bunkyo@ujeec.org) Phone & Fax 855-926-1140(文京学院) E-mail [nihs@ujeec.org](mailto:nihs@ujeec.org) Phone & Fax 855-669-9300(名古屋国際)